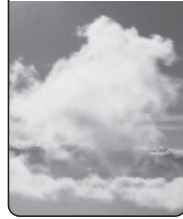


個人質問

11月定例市議会では、二十八人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

暮らし



行政情報の多言語化

時点で多言語化が急がれるものとされた文書等の70%が完了している。

問 本市では平成19年度から行政情報の多言語化を行っているが、どのような基準で計画を立てているのか。また現在の進捗状況は。

答 まずは外国人市民の安全・安心な生活に欠かせない情報を中心に、英語、中国語、ハングルの三言語を基本に多言語化を進めている。

現在、平成19年7月



多言語化が進む各種パンフレット

思春期の子どもの居場所

問 思春期の子どもの居場所づくりが必要だが、どのような

な所があるのか。

答 教育委員会では平成19年度から「放課後子ども教室」を実施しているほか、子ども会での小学校五・六年生のリーダー育成、中学・高校生で構成するジュニアリーダーの育成と活動の支援を行うなど、存在感が実感できるような活動の場を提供している。

公民館では夏休み中、中学・高校生が「子どもフリー塾」でボランティアとして活動するほか、地域の祭りや子ども会活動などにも参加し、そこが子どもの居場所にもなっている。

民間との連携による 児童福祉施策

問 民間が行う子どもへの支援の応援・連携・相互支援を

答 子どもの緊急避難場所である「子どもシェルター」や児童養護施設等を退所し、就職していく児童等に日常生活の援助、生活指導をする自立

援助ホームの役割の重要性は十分認識している。

政令市になることで自立援助ホームへの支援についても所管することとなるため、今後は民間等の機関とも連携・情報共有しながら、子どもの権利、生活環境の向上を進めたい。

高齢者虐待防止

問 高齢者虐待対応のため民間団体との連携を図ってはどうか。

答 平成19年度から、社会福祉法人が運営する特別養護老人ホーム施設長会議において、要介護者の緊急を要する虐待事例についての対応をお願いしている。また、民間団体を含めた関係機関との連携を密にするため「岡山市高齢者虐待防止連絡会」を立ち上げ、高齢者虐待対応のための体制強化を図っている。

今後は、高齢者シェルターを運営している民間団体などとの連携も検討したい。

ごみ有料化に伴う ボランティア袋

問 ボランティア袋の支給対

象と支給枚数は。

答 個人または団体が公園、道路等公共の場所をボランティアで清掃し、ごみステーションに排出する場合や、町内会がごみステーションの不適正排出を処理する場合を対象とする。

当初は有料化の開始時期に合わせ、各町内会へ世帯数に応じた枚数の袋を配布する予定だ。その後は、窓口で申請を随時受け付け、必要枚数を支給したい。



ボランティア清掃のごみ袋は無料で支給